

## 6 地域包括ケアの推進

### (1) 地域包括ケアの推進

#### ① 重層的支援体制整備事業への移行準備事業

(令和7年度予算額 28,394千円)

社会福祉法の改正により対象者の属性を問わない相談支援などによる複合・複雑化した支援ニーズを抱える地域住民や家族に対し包括的な支援を行う重層的支援体制整備事業が創設されました。鶴岡市では日常生活圏域単位による個人や家族の困りごとに対する包括的相談支援体制整備を推進します。

包括的相談支援事業者や関係機関等との連携体制の構築を図るための多機関協働について、令和4年度より(福)鶴岡市社会福祉協議会へ多機関協働事業を委託し、令和6年度から多機関協働事業に加え、アウトリーチを通じた継続支援事業、参加支援事業を委託し実施しています。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
多機関協働事業	3地区	7地区(新規4地区)	市内全域(新規4地区)	
重層的支援会議	8件(支援会議)	8件(支援会議)	12件 (延)	重層的支援会議 3件 支援会議 9件(延)

#### ② 孤独・孤立対策事業

(令和7年度予算額 470千円)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人と人との交流が薄れたことで深刻化した孤独・孤立問題に対応する取り組みを推進します。(令和4年度より実施)

《令和4年度実績》

内閣官房「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム形成事業」取り組み団体として、次の取り組みを実施しました。

- ・「人と人とのつながりに関するアンケート調査」による実態把握
- ・官民連携プラットフォーム準備会 (R5.3.24開催)

《令和5年度実績》

内閣官房孤独・孤立対策による「つながりサポーター」養成に関するカリキュラム等検討会と連携し、次の取り組みを実施しました。

- ・内閣府による「つながりサポーター」養成に係る検討会に参加
- ・「つながりサポーター養成講座」を試行的に実施
- ・孤独・孤立対策チラシによる普及啓発

《令和6年度実績》

令和4～5年度の取り組みを踏まえ、次の取り組みを実施しました。

- ・「つながりサポーター養成講座」の内容を情報発信(対象:民生委員児童委員全員対象研修会)
- ・5月の孤独・孤立対策強化月間で関係課や関係機関と連携した普及啓発の実施

### ③ 社会福祉基金運用益金活用助成

(令和7年度予算額 197千円)

地域福祉活動の推進を図るため、社会福祉に関する事業を行う団体又は個人に対して助成します。

対象者：小学校区ごとに設置された社会福祉を目的とする協議会、住民自治組織等

対象額：定められた対象経費の合計額の4分の3以内の額

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
件数	2	0	0	0	0

## (2) 地域医療の推進

### ① 鶴岡まるっと地域医療 ～地域医療市民勉強会～

令和3年度に策定した「鶴岡市地域医療市民アクションプラン」における市民アクションの実践の場として、市民の皆様より地域医療について理解を深め、関心を持ってもらうとともに、市民、医療関係者、行政が交流し、ともに学び考える場として開催する。

《令和6年度実績》

	実施状況	出席者数
第1回	日時：令和6年11月19日（火）18：30～20:30 会場：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる 3階 大会議室 内容：市民ワークショップ「世代を超えて話そう・私たちの医療～救急・在宅医療～」 ファシリテーター：株式会社瀬尾医療連携事務所 瀬尾利加子 氏	63名
第2回	日時：令和6年12月9日（月）18：30～20:00 場所：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる 3階 大会議室 内容：講演「南庄内の救急医療の現状と今後の展望」 講師 鶴岡市立荘内病院 外科・診療部主幹兼主任医長 坂本薫 氏 講演「知ってみよう、日本のドクターヘリ」 講師 鶴岡市立荘内病院 外科医長 救急科専門医 岡部康之 氏	80名
第3回	日時：令和7年2月8日（土）14:00～16:00 場所：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる 3階 大会議室 内容：講演「鶴岡市の救急搬送の現状～要請基準と適正利用を学ぼう～」 講師 鶴岡市消防本部 消防次長兼消防署長 小池敏明 氏 講演「限りある医療資源を分かち合うために」 講師 鶴岡地区医師会 副会長 菅原真樹 氏	71名
第4回	日時：令和7年2月22日（土）14:00～16:30 場所：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール 内容：テーマ「住民と共に創る地域医療」 基調講演「これからの時代に求められる地域総出の医療づくりとまちづくり」 講師 福井大学医学部 地域プライマリケア講座 教授 井階友貴 氏 パネルディスカッション 座長 庄内保健所 所長 蘆野吉和 氏 パネラー 福井大学医学部 地域プライマリケア講座 教授 井階友貴 氏 NPO 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク共同代表 小倉和也 氏 株式会社瀬尾医療連携事務所 代表取締役 瀬尾利加子 氏	116名

**② ストレッチャー対応タクシー車両維持経費等補助**

(令和7年度予算額 600 千円)

座位の保持が困難なため、ストレッチャーによる移送を必要とする市民のためにストレッチャー対応タクシーの安定した運行を支援し、医療機関等への移送体制の確保を図ります。

対象者：鶴岡市内に事業所があり、ストレッチャー対応タクシーを運行する事業者

補助額：市内を発着地のいずれかとする補助対象タクシーの運行回数に 1,000 円を乗じた額（上限 25,000 円/月）と車両維持にかかる補助対象経費の額のうち、低い方の額

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
件数	3	3	3	3	3

※平成 31 年 4 月から施行

**③ 私的二次救急医療対策補助**

(令和7年度予算額 6,500 千円)

救急医療体制の確保及び充実のため、病院経営に寄与し、救急医療を必要としている市民が、身近な地域で安心して医療を受けられる体制の維持を図ります。

対象者：鶴岡市内に所在する私的二次救急医療機関（鶴岡協立病院、産婦人科・小児科三井病院）

補助額：救急搬送により受け入れた傷病者の人数に 13,000 円を乗じた額（上限 6,500,000 円/年 500 人）と救急医療業務にかかる補助対象経費の額のうち、低い方の額

	3年度	4年度	5年度	6年度
傷病者受入人数	646	661	486	403
補助額（円）	6,500,000	6,500,000	6,318,000	5,239,000

※令和 3 年 4 月から施行

**（3）在宅医療・介護連携の推進****① 在宅医療・介護連携推進事業**

(令和7年度予算額 21,824 千円)

医療と介護の両方が必要な状態になっても、自宅等住み慣れた生活の場で自分らしい生活を続けられるために、地域における医療・介護の関係機関が効果的に連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供体制の推進を図ります。（事業委託先：鶴岡地区医師会、鶴岡市立荘内病院）

**（ア）地域の医療・介護の資源の把握**

在宅医療地域資源マップ等の情報整備を図り、関係機関へ共有します。

《令和 6 年度実績》

- ・ほたポンデータ提供・活用推進（年 1 回更新）
- ・訪問診療等実態調査および分析（年 1 回）

**（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出**

地域の医療・介護に関する課題を抽出し、課題解決に向け関係機関と協働し対応策を講じます。

《令和 6 年度実績》

- ・ほたる合同ミーティングや各種意見交換の場を通しての在宅医療・介護連携に関する課題の抽出

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

24 時間対応の在宅医療提供体制や、庄内地域の入退院調整ルールを活用、および庄内プロジェクトによる質の高い緩和ケア提供により、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を図ります。

《令和 6 年度実績》

- ・南庄内在宅医療を考える会（年 2 回） ・薬剤師とケアマネジャーとの意見交換会（年 1 回）
- ・地域 NST「南庄内・たべるを支援し隊」の活動支援（定例会議 毎月） NST 新規申込み 3 件
- ・歯科医師・歯科衛生士とケアマネジャーおよび通所介護事業所との交流会（年 1 回）

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

Net4U や地域連携パス等の情報共有ツールの活用を推進し、医療・介護関係者の情報共有を支援します。

《令和 6 年度実績》

- ・医療介護連携様式の管理および利活用の促進
- ・情報共有 ICT ツール「Net4U・Note4U」の運用主体および運用支援、利活用促進に関する活動
- ・ショートステイ空き情報提供（毎週更新）
- ・医療機関、歯科医院、調剤薬局の長期休暇期間中の営業状況の把握と情報提供
- ・庄内南部地域連携パス推進協議会の運営
- ・庄内医療情報ネットワーク推進協議会の開催（年 2 回）および特別講演会の開催（年 1 回）

(オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取り組みを支援します。

《令和 6 年度実績》

- ・総合相談窓口業務（訪問歯科診療相談窓口、地域一体型 NST 窓口機能も含む）
- ・庄内病院地域医療連携室における入退院支援

(カ) 医療・介護関係者の研修

地域の医療・介護関係者を対象とした医療と介護の多職種連携研修会を開催します。

実施状況	
令和 2 年度	【新型コロナの影響により令和 2 年度は中止】
令和 3 年度	研修会 2 回開催 延べ参加人数 79 人 第 1 回 R3 年 6 月 16 日（水） テーマ：「ウイズコロナの環境と訪問看護」 講師：訪問看護ステーションとるて 管理者 弐持 朝子 氏 第 2 回 R3 年 10 月 20 日（水） テーマ：「重篤な病を持つ人との話し合いをどう進めるか～実際に ACP（人生会議）を進めるコミュニケーション～」 講師：一般社団法人 MY wells 地域ケア工房代表 神谷 浩平 氏

実施状況	
令和 4年度	<p>研修会3回開催 延べ参加人数 124人</p> <p>第1回R4年6月15日(水) テーマ:「荘内病院 NST※の奮闘記録 18年の歩み」 講師: 荘内病院 NST3名</p> <p>第2回R4年10月19日(水) テーマ:「緩和ケアの基本に立ち返るコミュニケーション」 講師: 一般社団法人 MY wells 地域ケア工房 代表 神谷 浩平 氏</p> <p>第3回R5年2月15日(水) テーマ:「医療的ケア児に関わる歯科医師の役割」 講師: 大久保歯科医院(寒河江市) 副院長 大久保 明 氏</p> <p>※NST…栄養サポートチーム</p>
令和 5年度	<p>(鶴岡地区医師会地域医療連携室ほたる開催分)</p> <p>医療と介護の連携研修会 R5年11月29日 参加者 69名 テーマ:「医療と介護の連携の現状について語ろう!」～課題解決にむけたワーキング～ 講師: 山形県立保健医療大学 看護学科教授 菅原 京子 氏</p> <p>ほたる多職種研修会 R6年2月9日 参加者 107名 テーマ:「ヒアリングフレイル ～高齢者の耳を学ぼう～」 講師: 聴脳科学総合研究所 中石 真一路 氏</p> <p>(庄内プロジェクト開催分)</p> <p>研修会3回開催 延べ参加人数 167人</p> <p>第1回R5年6月21日(水) テーマ:「働いているときに災害が起きたら」 講師: 荘内病院 災害看護専門看護師 木村 晃一 氏</p> <p>第2回R5年10月18日(水) テーマ:「エビデンス×経験×法律で語る「死亡診断・看取りの作法 ～死亡診断・お看取りの際のポイントを知ろう～」」 講師: 一般社団法人 MY wells 地域ケア工房 代表 神谷 浩平 氏</p> <p>第3回R6年2月21日(水) テーマ:「結構役立つ口腔ケア多職種連携がカギ」 講師: 徳島県立中央病院 歯科口腔外科部長 山森 郁 氏</p>
令和 6年度	<p>(鶴岡地区医師会地域医療連携室ほたる開催分)</p> <p>医療と介護の連携研修会 R6年11月7日 参加者 136名 テーマ:「本人・家族が望む暮らしを支えるために」～スムーズな支援のために私たちができること～ 講師・ファシリテーター: 山形県庄内保健所 所長 蘆野 吉和 氏</p> <p>地域一体型 NST「南庄内・たべるを支援し隊」・ほたる多職種 合同研修会 R7年3月24日 参加者 107名 テーマ:「人生最終段階の食支援『お食い締め』」 講師: 愛知学院大学健康科学部 教授 牧野 日和 氏</p> <p>(庄内プロジェクト開催分)</p> <p>研修会3回開催 延べ参加人数 174人</p> <p>第1回R6年6月19日(水) テーマ:「在宅医療における認知症診断の重要性」 講師: 荘内病院 神経内科医師 丸谷 宏 氏</p> <p>第2回R6年10月16日(水) テーマ:「フェーズフリーで行う新しい緩和ケア」 講師: 一般社団法人 MY wells 地域ケア工房 代表 神谷 浩平 氏</p> <p>第3回R7年2月5日(水) テーマ:「せん妄への対応・ケアについて」 講師: 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科医師 小川 朝生 氏</p>

(キ) 地域住民への普及啓発

在宅医療・介護に関する普及・啓発を図ります。

《令和6年度実績》

- ・市民向け在宅医療・介護連携に関する研修会やイベントの企画・運営、共催
- ・地域で開催される健康、医療、介護等のイベントへの参加
- ・ほたるHPやFacebookページ、ほたるだより等での各種情報提供
- ・つるおか健康塾（年5回） ・ほっと広場（がん患者と家族の会）（年4回）
- ・ぷちたみ（ストーマ患者と家族の会）（年2回） ・緩和ケア市民公開講座（年1回）
- ・出張講演会（年3回） ・ドクター出前講座（年2回）

(ク) 在宅医療と介護連携に関する関係市町の連携

二次医療圏内にある病院間等との話し合いを行い、広域連携が必要な事項について検討します。

《令和6年度実績》

- ・ほたる合同ミーティング（年6回）
- ・在宅医療・介護連携推進事業関係機関会議（年3回）
- ・庄内地域難病対策協議会への参加（年1回）
- ・庄内地域における在宅医療・介護広域連携推進のための連絡会議への参加（年1回）

## (4) 地域支え合いの推進

### ① 生活支援体制整備事業

(令和7年度予算額 48,865 千円)

支え合いのある地域づくりを支援するため、各地域包括支援センターに生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を1名（計11人）配置し、住民・ボランティア・NPO・社会福祉法人・民間企業等の多様な主による見守り・買い物・移送・サロンなど多様な取り組みのコーディネートを行い、地域の実情に合わせた互助の仕組みづくりを進め、高齢者等の生活支援・介護予防サービス提供体制の推進を図ります。また、高齢者や要支援者等を支える人材の育成を目的に「担い手養成研修会」を開催します。

(ア) 生活支援コーディネーター活動実績

生活支援コーディネーターが、会議や通いの場など地域に出向き、地域資源や生活課題の把握をし、必要なサービスとのマッチングや新たな地域の支え合い活動の創出など、支え合いのある地域づくりを支援しています。

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
新たな地域資源の発見（件）	47	50	33	35	34
新たな地域の支え合い活動の創出（件）	28	29	21	17	19
広報物の作成（件）	50	116	89	121	169
情報発信の取り組み（件）	161	451	436	1,027	588

<令和6年度 新たな地域の支え合い活動の創出>

内容	件数
通いの場	15
地域食堂	2
その他	2

(イ) 地域の支え合い活動の可視化（見える化）

地域の支え合い活動の可視化（見える化）を行い、地域の支え合い活動の推進を図ることを目的に、地域支え合い情報誌を発行し、地域住民組織・関係機関に広く配布し支え合いの地域づくりについて周知しています。

【地域支え合い情報誌の発行】

- 令和2年度 「和と輪 つるおか」 (5,000部)
- 令和3年度 「和と輪 つるおか」 第2号 (5,000部)
- 令和4年度 「和と輪 つるおか」 第3号 (5,000部)
- 令和5年度 「和と輪 つるおか」 第4号 (5,000部)
- 令和6年度 「和と輪 つるおか」 第5号 (5,000部)

(ウ) 情報発信及び発表会（見せる化）

「通いの場」や「地域の支え合い活動」などを展開している団体の取り組み内容を紹介することにより、活動の継続意欲の向上や、新規の立ち上げへの機運を高めることを目的に開催します。

<<令和6年度実績>>

○鶴岡市地域支え合い活動研修会 ～住み続けたい そんな想いをかたちに～

実施日：令和6年11月16日（土）13:30～15:30

会場：鶴岡市第三学区コミュニティセンター 大ホール

内容：講演 「地域で支え合う大切さを知ろう～地域のくらしの足を考える～」

講師 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構 政策推進部研究事業担当部長

研究部主席研究員 服部 真治 氏

参加者数：92人

(エ) 担い手養成研修

対象者：一般市民

内容：担い手となるために必要な基礎的な知識や技術の講習、同行訪問

<<令和6年度実績>>

実施状況		修了者数
市開催	実施期間：令和6年6月21日(金)、6月24日(月)、7月30日(火) 通いの場見学：令和6年7月8日、9日、12日、16日、19日、22日、27日 会場：鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる他	14人

(オ) 鶴岡市地域ケア推進会議

日常生活圏域レベルの地域ケア会議で明らかになった課題を整理し、解決していくために、保健・医療・福祉等の関係機関の代表者で構成する会議で、ニーズに対応したサービス資源の開発や、保健・医療・福祉等の専門機関や住民組織・民間企業等によるネットワークを強化し地域包括ケアの社会基盤整備につなげます。

《令和6年度実績》

実施状況	
	開催なし